

JA都城5月郡市
和牛共進会

都城市・都城農業高(萩原浩二校長、590人)の畜産研究班が育てた雌子牛「あすか」が、9日開かれたJA都城5月郡市和牛共進会で優等1席に輝いた。同校の子牛が1席になるのは2017年6月以来約5年ぶり。体積良好で体の深さや長さ、体上線の強さ、骨のしまり、毛質の良さが評価された。

きり
しま

都城農高 5年ぶり 優等1席



「あすか」
優等1席に輝いた都城農業高の

共進会は同市の都城地域家畜市場であり同市、三股町の雌子牛34頭が出場した。「あすか」は277日齢で体重336kg。父「福晴茂」、母の父「耕富士」。同校の三股牧場で生まれ、育成中にひときわ大きく成長。配合飼料を減らし交代で歩く運動をさせたり洗ったりと管理を徹底したという。

体積良好 管理を徹底

同班は畜産科の11人が所属。学校と牧場を自転車で行き来し牛を世話している。共進会に向けて引き運動を行い姿勢づくりの調教などに取り組み毛づくろいも欠かさなかった。

共進会には班員5人が参加。引き手は中村晶穂(16)、永盛明詩(16)さんの2年生コンビが務めた。中村さんは「緊張したけれど練習通りにできた。1席の実感はなくびつくり。愛情を注いだ結果。ほかの子牛も1席になれるよう頑張りたい」と笑顔だった。

競り市は16、18日に同市場であり、1350頭が出場予定。

その他の優等は次の通り。(敬称略)

②なおの916(上田孝雄・山之口) 父・福晴茂、母の父・勝平正③かりん(児玉新次・志和池) 父・安福久④ふじみ(八木安郎・志和池) 父・光美、忠富士⑤まるとみ(新地誠司・高城) 父・安福久⑥なつ(中村保夫・山之口) 満天白清、美穂国⑦こうだいひめ25(大村忠美・三股) 秀正実、耕富士

(湯田光)